

## 「TPPを読み解くⅡ」

4月27日(水) 午前10時30分～12時

京都大学大学院工学研究科(都市社会工学専門) 助教 **中野剛志さん**

日本の平均的な関税率は、米、EU、韓国よりも低く「平成の開国」は不要です。また TPP交渉参加国のGDPのシェアは、米が7割、日本が2割強で、事実上TPPは米国の輸出増のための協定です。以上の見地のお話から、農業が大きな影響を受けるといわれるTPPについて、ひき続き考えていきましょう。

『TPP 亡国論』集英社(2011年)が出版されています。

## 「地域でがんばるおもしろい農家」

5月25日(水) 午前10時30分～12時

農業生産法人(有)夢前夢工房(姫路市夢前町) 代表 **衣笠愛之さん**

姫路市夢前町で「夢工房」を経営する衣笠愛之さんは農家の2代目。実家を継ぎ、無農薬・減農薬栽培にこだわりながら、加工部門の展開、地域での農業体験、研修、レストラン、田んぼアートなどにも幅広く取り組まれ、大規模化。その様子をお聞きます。

## 「ワクチンの安全性、ワクチンで防げる病気」

6月22日(水) 午前10時30分～12時

佛教大学社会福祉学部教授(耳原総合病院小児科) **武内一さん**

子宮頸がんワクチンキャンペーンの影響で、新聞やテレビでワクチンのことが報道されると同時に日本のワクチン行政の遅れやワクチン接種の副作用問題がクローズアップされるようになりました。ワクチンは本当に安全なのでしょうか？ワクチンのこともっともっと知りたいと思いませんか？

『Hib 感染症とHib ワクチン徹底解説ガイドブック』文光堂(2009年)が出版されています。

## 「科学は誰のものか？ - 遺伝子組み換え作物を通して」

7月27日(水) 午前10時30分～12時

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授 **平川秀幸さん**

原発、遺伝子組み換え作物など、これら科学技術は日常生活に重要なことであるにもかかわらず、一般の市民は十分に向き合うことができていないのが現状です。にもかかわらず、行政、企業、研究者は市民に伝えきれていません。今後の大きな課題です。多数の参加をお待ちしています。

『科学は誰のものか？-社会の側から問い直す』NHK出版(2010年)が出版されています。

● **会場：神戸学生青年センターホール TEL 078-851-2760**

(阪急六甲下車徒歩3分、JR六甲道下車徒歩10分)

● **参加費：600円※託児(無料)があります。**

必要な方は前々日までに予約してください。

● **主催：神戸学生青年センター**

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

〒657-0064 神戸市灘区山田町 3-1-1 ホームページ <http://ksyc.jp/>

e-mail [info@ksyc.jp](mailto:info@ksyc.jp)

